

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社名： BASF ジャパン株式会社
住所： 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー21階
担当部門： 農薬事業部 開発登録部
FAX番号： 03-3796-9417
緊急連絡先： 0120-014660(フリーダイヤル) 案内に従って選択
(財)日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)
中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499 (情報料無料)
365日 24時間対応
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料)
365日 9~21時対応
医療機関専用電話 (大阪) 072-726-9923 (1件 2000円)
365日 24時間対応
(つくば) 029-851-9999 (1件 2000円)
365日 9~21時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報提供料1件につき
2000円を徴収します。

整理番号： 30285108/SDS_CPA/EU/EN_JP

作成日： 2007年04月04日

改訂日： 2011年01月07日 ver 4.2

製品名(化学名、商品名)： BASF ヒエクリンバサグラン粒剤

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

化学物質名	含有率 (%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号 化審法/安衛法	CAS No.
ピリミノバックメチル メチル=2-(4,6-ジメチルピリジン-2-イル) -6-(1-メチルイミダゾール)エーテル ベンタゾンナトリウム塩 3-イソピル-2,1,3-ベンゾチアゾール -(4)-2,2-ジメチル = ナトリウム塩	0.40 11.0	$C_{17}H_{19}N_3O_6$ $C_{10}H_{12}N_2NaO_3S$	安衛法：収基 第856号 (E体), 第857号 (Z体) -	136191-64-5 25057-89-0
その他、鉱物質、補助成分等	残り			

ピリミノバックメチル： PRTR 法対象物質 (1種 435)

3. 危険有害性の要約

[GHS の分類]

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入、粉塵）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼への重篤な損傷・刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分外
	水生環境有害性（慢性）	区分外

[GHS ラベル要素]

シンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚に接触すると有害のおそれ

眼に入ると有害のおそれ

発がんのおそれ

(予防対策)

使用前に取扱い説明書を入手すること。粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。環境への放出を避けること。この製品を使用する時に飲食、または喫煙しないこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。必要な個人用保護具を使用すること。取扱い後は多量の水と石鹸でよく洗うこと。

(緊急対応)

気分が悪い時は医師に連絡すること。流出物を回収すること。暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。飲み込んだ場合は、口を漱ぐこと。

(保管)

施錠して保管すること。

(廃棄)

適切に分別した内容物 / 容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

4. 応急処置

一般的なアドバイス：

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。汚れた衣服は取り替える。気分が悪くなった場合には、その場所を離れ回復を待つ。回復困難な場合には医師の診断を受けること。医師に容器、ラベル、安全データシートなどを見せること。

吸入した場合：

安静にし、新鮮な空気の場合に移動させ、医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：

直ちに水と石鹸で十分に洗い流す。刺激が続くようであれば医師の診察を受けること。

眼に入った場合：

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

直ちに口をすすぎ多量の水を飲ませた後、医師の手当てを受ける。中毒情報センターや医師の指示がないかぎり吐き出させないこと。意識がない場合や痙攣を起こしている場合には、吐かせたり口にものを入れてはならない。

医師への注意：

対症療法を行う（薬物除去、機能回復）。特定の解毒剤はない。

5. 火災時の措置

消火剤：

散水、噴霧水、二酸化炭素、消火泡、粉末消火剤など

防護服等：

自給式呼吸器及び耐薬品/防火防護服を着用する。

その他：

火災ないしは爆発による噴煙を吸わない。周辺火災では、散水により容器を冷却する。火災現場より流出した水を集め、排水経路に流れ込まないようにする。暴露した物及び本物質が混ざった水は回収し、地域の法令に従って処分する。周辺火災では、散水により容器を冷却する。

火災時に一酸化炭素、窒素酸化物が発生する恐れがある

6. 漏出時の措置

人的注意：

暴露防止措置に記載された保護具を着用して取扱うこと。眼、皮膚及び衣服への付着を避けること。付着した衣服、下着及び靴は直ちに替える。

環境への注意：

土壌などに流さない。排水溝、地表水及び地下水への排水を防止する。

地域の法令に従い、環境中へ漏出した数量等について関係所轄へ連絡する。

処理法：

少量の場合は、吸着剤に吸収させ回収し処分する（例：砂、おがくず、珪藻土）。大量の場合は、かき集めるまたはすくい取る。

廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付及び密閉が可能な容器とする。水及び洗剤を用いて、水及び洗剤を用いて汚染された床及び物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。地域の法令に従い、焼却または廃棄物処理場へ運搬すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

指示通りの通常の手扱いは特別な処置は必要ない。作業場の換気を十分に行う。

火災及び爆発からの保護：

粉塵は空気と混合して爆発性物質を形成する可能性がある。粉塵を発生させない。静電気防止対策をとる。発火源に近づけない。消火器常備のこと。

保管：

食料品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加事項：湿気を避ける。熱源から離して保管する。直射日光を避ける。

保存安定性：

保管期間：3年間安定

原則として40℃以上で保管しない。製品を上記指示以上に長期間保管すると製品特性が変質する恐れがある。

8. 暴露防止及び保護措置

一般的な安全及び衛生対策：最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う場合には、使用説明書（ラベル）の保護具に関する記述に従うこと。粉塵を吸入しない。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。衣服に付着した場合には直ちに着替える。作業着は他の衣服と分けて保管する。食品、飲料、動物用飼料から隔離する。作業所での飲食、喫煙をしない。取扱い後は石鹸で十分に洗浄する。また、研究所従事者は研究所の規則に従い、工場従事者は以下の保護具を着用する。

呼吸保護具：

エアゾール／粉塵が発生する場合または換気の悪い場合には、呼吸保護具を着用する。固体及び液体粒子に対して微粒子フィルタ付き防塵マスク（例：EN 143 もしくは 149P1 型もしくは FFP1）。

手の保護：

長期間直接付着を可能にする耐薬品性保護手袋（EN 374）（推奨：EN 374 に従った480時間以上浸透を防ぐ Protective Index 6：例 ニトリルゴム製（0.4 mm）、クロロピレンゴム製（0.5 mm）、ブチルゴム製（0.7 mm）など）

眼の保護：

密着性の高いサイドシールド付きの保護眼鏡（例：EN 166）

身体の保護：

作業内容及び暴露程度によって選択する、例 エプロン、保護長靴、耐薬品性保護衣（例：DIN-EN 465）

9. 物理的及び化学的性質

外観等： 淡灰色細粒

pH^{*}： 9.18

見かけ比重^{*}： 1.14

10. 安定性及び反応性

熱分解性：指示された保管取扱いでは分解しない。

避けるべき材料：酸化剤

反応性：指示された保管取扱いにおいて有害物質が発生するような反応性はない。

危険有害な分解生成物：指示された保管取扱いにおいて有害物質は発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性：

LD₅₀（ラット、経口、雌）：2500 mg/kg 以上

LD₅₀（ラット、経皮、雌雄）：雌雄 2000 mg/kg 以上

刺激性：

皮膚刺激（ウサギ）：軽度刺激性あり。

眼刺激（ウサギ）：中等度刺激性あり。

感作性：皮膚感作性なし（モルモット：Buehler法）。但し、ベンタゾン原体を用いた試験(maximization法)では皮膚感作性が認められている。

発がん性：本製品に含まれる鉱物質微粉は天然鉱産物であり、天然由来の石英(シリカ)を含む。区分1Aに分類される石英(シリカ)をカットオフ値の0.1%以上含有していると考えられるので区分1Aとした。

12. 環境影響情報

LC₅₀（コイ）：1000 mg/L 以上（96時間）

EC₅₀（オオミジンコ）：1000 mg/L 以上（48時間）

EbC₅₀（藻類）：1000 mg/L 以上（0-72時間）

ベンタゾンに関する情報：

残留性及び分解性：ベンタゾンは容易に生分解されない

ピリミノバックメチルに関する情報：

残留性及び分解性：ピリミノバックメチルは容易に生分解されない

その他の環境毒性情報：

環境中への排出については、環境法令や規制・基準に従って適切に処理する。環境影響データには原体情報も含む。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従って処分する。

14. 輸送上の注意

運搬に際し、容器の漏れのない事を確認し、落下、転倒、衝突を避ける。取扱い及び保管上の注意の項に留意する。

15. 適用法令

農薬取締法 登録番号 第 21834 号

労働安全衛生法：第 57 条の 2 第 1 項 施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等通知すべき有害物（シリカ）

廃掃法

消防法：非危険物

PRTR 法：ピリミノバックメチル（1 種 435）

ラベル表示

(1) 誤食などのないよう注意すること。

(2) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

(3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

参考情報（欧州の規制）

危険有害性シンボル： Xi

R-phrase：R43

S-phrase：S2, S13, S20/21, S24, S37, S46

表示すべき危険有害性物質：ペンタゾン、ピリミノバックメチル

16. その他の情報

引用文献： B A S F 製品安全データシート（30285108/SDS_CPA_EU/EN Version 1.0）

本安全性データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特長（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特長を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規制を遵守してください。

17. 改訂履歴

作成日： 2007年04月04日 ver 1

第 1 回改訂日： 2008年03月17日 ver 2

第 2 回改訂日： 2008年11月14日 ver 3

第 3 回改訂日： 2009年10月01日 ver 4

第 4 回改訂日： 2010年01月15日 ver 4.1

整理番号：30285108/SDS_CPA¥EU/EN_JP

作成日： 2007年04月04日

改訂日： 2011年01月07日 ver 4.2

製品名（化学名、商品名）：BASF ヒエクリーンバサグラン粒剤

第5回改訂日： 2011年01月07日 ver 4.2